

議題（１）各種調査の結果について

１．バス乗降（OD）調査

（１）概要

目 的：ローカルバス利用の実態を統計的に分析し、既往の市民満足度調査結果やバス利用実態調査結果等の分析とあわせて、実証運行の計画の参考にするほか、サービス水準評価の指標を導くため

調 査 日：6月19日（金）（Mバスの止々呂美コースは18日（木））

調 査 対 象：公共施設巡回福祉バス（Mバス）の全路線・全便
路線バス（阪急バス）の箕面山麓線（36・37系統）の循環便（14便）

調 査 方 法：バス利用者に対して、乗車時に調査票を配布する
乗車中に調査票の質問に回答してもらい、降車時に回収する

調 査 項 目：利用区間・時間帯、年齢、利用頻度、利用目的（路線バスのみ）

（２）結果

総利用者数：Mバス（全コース）	862人
（ 西部北コース 212人、西部南コース 175人、中 部コース 110人）	
（ 東部北コース 274人、東部南コース 78人、止々呂美コース 1人）	
路線バス（循環便）	440人

乗降者数の多い停留所：（100人以上）

Mバス		
（ みのおライフプラザ	266人、	松寿荘 244人
箕面駅前第一駐車場前	176人、	市役所前 131人
箕面警察前	127人	
路線バス		
（ 箕面	253人、	粟生団地 129人

２．自治会意向調査

（１）概要

目 的：ルート案やダイヤ案（たたき台）に、地域住民のライフスタイルやローカルバスネットワークに関する意向を反映させるため

調 査 日：6月中旬～7月上旬

調 査 対 象：市内の全ての自治会（242自治会）

調 査 方 法：自治会長に対して質問を実施、郵送にて回収

調 査 項 目：市内を移動するためのバスの充実度
市内を移動するためのバスで不足している内容
地域のそばにあるバス停の位置
バスの利用を促進するための方法

（２）結果

回 答 率：75.2%（182自治会が回答）

傾 向：バスサービスは、西部の丘陵、中部の今宮・西宿地区、東部の小野原地区、北部などでは不足していると感じる人（自治会）が多い。
バスを利用して行きたい場所は、市立病院、かやの中央、箕面駅、市役所、船場団地、箕面駅周辺商業施設などを挙げる人（自治会）が多い。